

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第97期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

【会社名】 小池酸素工業株式会社

【英訳名】 KOIKE SANSO KOGYO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小池 英夫

【本店の所在の場所】 東京都江戸川区西小岩三丁目35番16号
（同所は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階

【電話番号】 03（3624）3111（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役副社長執行役員管理部長 富岡 恭三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）
小池酸素工業株式会社 城北支店
（埼玉県川口市領家三丁目10番19号）
小池酸素工業株式会社 千葉支店
（千葉県市原市八幡海岸通47番地）
小池酸素工業株式会社 京浜支店
（神奈川県横浜市鶴見区元宮二丁目4番55号）
小池酸素工業株式会社 名古屋支店
（愛知県名古屋市瑞穂区牛巻町12番地9）
小池酸素工業株式会社 大阪支店
（大阪府東大阪市高井田西三丁目8番19号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第96期 第2四半期 連結累計期間	第97期 第2四半期 連結累計期間	第96期
会計期間		自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高	(百万円)	21,162	22,207	46,217
経常利益	(百万円)	368	492	1,212
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	102	231	514
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	4	447	155
純資産額	(百万円)	31,209	31,484	31,372
総資産額	(百万円)	54,145	54,872	55,274
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	24.83	55.84	124.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	53.70	53.36	52.80
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	748	2,134	1,016
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	441	1,212	665
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	802	625	726
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(百万円)	7,957	8,325	8,094

回次		第96期 第2四半期 連結会計期間	第97期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	28.89	66.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しが見られましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である産業機械業界・造船業界では市況が低調に推移しましたが、建設業界では需要に回復の動きが続きました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場での顧客満足の実現に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は548億72百万円で、前連結会計年度末比4億1百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は233億88百万円で、前連結会計年度末比5億12百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は314億84百万円で、前連結会計年度末比1億11百万円の増加となりました。

経営成績

当第2四半期連結累計期間の売上高は222億7百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は3億57百万円（同50.1%増）、経常利益は4億92百万円（同33.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億31百万円（同125.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

a. 機械装置

機械装置部門においては、プラズマ切断機やレーザー切断機等の拡販活動の強化により大型案件の受注を獲得し、売上高・利益が増加しました。

その結果、売上高は87億75百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は4億27百万円（同76.2%増）となりました。

b. 高圧ガス

高圧ガス部門においては、新規拡販活動に注力するとともに、医療分野における新製品の投入や酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加したことなどにより、売上高は堅調に推移しました。

一方で、ガス配送におけるドライバー不足などによる物流コストの増加や安全対策として老朽化した容器の更新費用が発生したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は81億19百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は2億62百万円（同23.2%減）となりました。

c. 溶接機材

溶接機材部門においては、安全講習会実施の推進や溶接プロセスのソリューション提案営業の強化により受注が増加するとともに、省力化に向けた大型の溶接ロボットの販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は49億52百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1億71百万円（同32.9%増）となりました。

d. その他

その他の部門においては、中国市場でディスプレイ製造装置への設備投資が減速したことにより、排ガス処理装置の売上高が大幅に減少しました。

その結果、売上高は3億59百万円（前年同期比33.2%減）、セグメント利益は18百万円（同61.2%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は83億25百万円で、前連結会計年度末に比べ2億30百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは21億34百万円の収入（前年同期は7億48百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費と売上債権の回収によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは12億12百万円の支出（前年同期は4億41百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは6億25百万円の支出（前年同期は8億2百万円の支出）となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出と配当金の支払があったことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、1億58百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,910,000
計	17,910,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,522,933	4,522,933	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	4,522,933	4,522,933	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	4,522,933	-	4,028	-	2,366

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
小池酸素工業取引先持株会	東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイト ビル錦糸町3階	304	7.34
大陽日酸株式会社	東京都品川区小山一丁目3番26号	266	6.44
小池商事株式会社	東京都墨田区錦糸三丁目5番7号	261	6.32
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	204	4.94
株式会社千葉銀行	千葉県千葉市中央区千葉港1番2号	199	4.81
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	174	4.20
あいおいニッセイ同和損害 保険株式会社	東京都渋谷区恵比寿一丁目28番1号	160	3.87
株式会社きらぼし銀行	東京都港区南青山三丁目10番43号	152	3.68
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町二丁目5番5号	113	2.73
小池化学株式会社	東京都墨田区錦糸三丁目2番1号	105	2.55
計	-	1,943	46.87

(注) 上記のほか、自己株式が376千株あります。

(6)【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 459,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,034,800	40,348	-
単元未満株式	普通株式 28,933	-	-
発行済株式総数	4,522,933	-	-
総株主の議決権	-	40,348	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数54個が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
中国アセチレン株式会社	山口県宇部市東須恵3903番地の3	40,100	10,000	50,100	1.11
株式会社エイ・エム・シー	東京都足立区入谷七丁目11番12号	2,000	29,200	31,200	0.69
ケーエム酸素株式会社	茨城県つくばみらい市谷井田504番地1	800	600	1,400	0.03
小池酸素工業株式会社	東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階	376,500	-	376,500	8.32
計	-	419,400	39,800	459,200	10.15

(注)1. 他人名義として所有している株式は、取引先による持株会「小池酸素工業取引先持株会」(東京都墨田区太平二丁目10番10号ユナイトビル錦糸町3階)名義のうち、相互保有株式の持株残高を記載しております。
2. 当社は、2019年7月25日付で譲渡制限付株式報酬としての自己株式8,500株の処分を実施いたしました。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,571	8,813
受取手形及び売掛金	14,991	13,318
有価証券	330	213
商品及び製品	4,514	4,460
仕掛品	1,270	1,272
原材料及び貯蔵品	1,563	1,526
その他	879	723
貸倒引当金	242	272
流動資産合計	31,879	30,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,149	4,048
機械装置及び運搬具(純額)	1,226	1,157
工具、器具及び備品(純額)	373	386
土地	9,430	9,423
リース資産(純額)	1,276	1,333
建設仮勘定	56	579
有形固定資産合計	16,512	16,929
無形固定資産		
のれん	20	21
リース資産	14	11
その他	236	233
無形固定資産合計	272	267
投資その他の資産	3 6,610	3 7,620
固定資産合計	23,394	24,817
資産合計	55,274	54,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,715	7,229
電子記録債務	3,452	3,078
短期借入金	4,078	4,068
1年内返済予定の長期借入金	172	152
未払法人税等	188	231
賞与引当金	419	496
役員賞与引当金	71	30
受注損失引当金	10	11
製品保証引当金	173	166
建物解体費用引当金	43	23
その他	2,366	2,435
流動負債合計	18,691	17,923
固定負債		
長期借入金	634	760
役員退職慰労引当金	227	220
退職給付に係る負債	181	188
資産除去債務	23	23
その他	4,143	4,272
固定負債合計	5,210	5,465
負債合計	23,901	23,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,351
利益剰余金	20,535	20,435
自己株式	921	901
株主資本合計	25,996	25,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	2,002
繰延ヘッジ損益	1	-
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	454	263
退職給付に係る調整累計額	223	234
その他の包括利益累計額合計	3,187	3,367
非支配株主持分	2,188	2,201
純資産合計	31,372	31,484
負債純資産合計	55,274	54,872

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	21,162	22,207
売上原価	15,343	16,240
売上総利益	5,818	5,966
販売費及び一般管理費	5,580	5,609
営業利益	238	357
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	55	61
受取賃貸料	95	95
持分法による投資利益	28	23
物品売却益	23	21
貸倒引当金戻入額	45	-
その他	37	43
営業外収益合計	296	262
営業外費用		
支払利息	36	37
賃貸費用	24	24
為替差損	98	21
その他	8	44
営業外費用合計	166	128
経常利益	368	492
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	0	-
関係会社清算益	4	-
その他	0	1
特別利益合計	18	1
特別損失		
固定資産除売却損	11	2
減損損失	40	0
建物解体費用引当金繰入額	45	-
その他	2	0
特別損失合計	98	3
税金等調整前四半期純利益	287	491
法人税、住民税及び事業税	168	208
法人税等調整額	31	10
法人税等合計	137	197
四半期純利益	150	293
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	231

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	150	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	360
繰延ヘッジ損益	-	1
為替換算調整勘定	151	218
退職給付に係る調整額	22	10
その他の包括利益合計	155	153
四半期包括利益	4	447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28	411
非支配株主に係る四半期包括利益	23	35

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	287	491
減価償却費	709	750
株式報酬費用	-	4
減損損失	40	0
のれん償却額	8	6
貸倒引当金の増減額(は減少)	60	46
賞与引当金の増減額(は減少)	59	76
役員賞与引当金の増減額(は減少)	49	41
受注損失引当金の増減額(は減少)	1	1
製品保証引当金の増減額(は減少)	8	3
建物解体費用引当金の増減(は減少)	45	20
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11	6
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	19	46
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	13	18
受取利息及び受取配当金	66	78
支払利息	36	37
持分法による投資損益(は益)	28	23
固定資産除売却損益(は益)	1	2
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	0	-
関係会社清算損益(は益)	4	-
売上債権の増減額(は増加)	2,187	1,672
たな卸資産の増減額(は増加)	1,258	14
仕入債務の増減額(は減少)	544	689
未払消費税等の増減額(は減少)	136	86
その他	77	18
小計	1,055	2,254
利息及び配当金の受取額	75	89
利息の支払額	41	44
法人税等の支払額	341	165
営業活動によるキャッシュ・フロー	748	2,134

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	355	192
定期預金の払戻による収入	351	181
有形固定資産の取得による支出	467	804
有形固定資産の売却による収入	29	4
無形固定資産の取得による支出	51	41
投資有価証券の取得による支出	11	12
投資有価証券の売却による収入	0	-
有価証券の取得による支出	10	-
関係会社株式の取得による支出	-	141
関係会社出資金の払込による支出	-	202
関係会社の清算による収入	45	35
貸付けによる支出	-	48
貸付金の回収による収入	9	0
その他	18	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	441	1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	59	12
長期借入金の返済による支出	236	144
長期借入れによる収入	-	250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	313	364
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	289	331
非支配株主への配当金の支払額	21	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	802	625
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	66
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	500	230
現金及び現金同等物の期首残高	8,457	8,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,957	8,325

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)	
関西総合ガスセンター(株)	48百万円	関西総合ガスセンター(株)	44百万円
コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	64	コイケカuttingアンドウェル ディング(インド)(株)	69
計	113	計	114

2 受取手形裏書譲渡高

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	15百万円
	62百万円

3 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
投資その他の資産	46百万円
	60百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料	1,869百万円	1,907百万円
賞与引当金繰入額	325	343
役員賞与引当金繰入額	30	30
退職給付費用	63	59
役員退職慰労引当金繰入額	13	13
貸倒引当金繰入額	-	46

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	8,525百万円	8,813百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	568	488
現金及び現金同等物	7,957	8,325

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	289	70	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	331	80	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	-	21,162
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	-	21,162
セグメント利益	242	341	128	713	47	760	522	238

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 522百万円には、セグメント間取引消去75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 624百万円、棚卸資産の調整32百万円、その他の調整額 5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,775	8,119	4,952	21,847	359	22,207	-	22,207
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	8,775	8,119	4,952	21,847	359	22,207	-	22,207
セグメント利益	427	262	171	861	18	880	522	357

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。
2. セグメント利益の調整額 522百万円には、セグメント間取引消去48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 621百万円、棚卸資産の調整50百万円、その他の調整額 0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	24円83銭	55円84銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	102	231
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(百万円)	102	231
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,138	4,141

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

小池酸素工業株式会社

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	勝 伸一郎	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中島 伸一	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	杉本 拓司	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小池酸素工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小池酸素工業株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。